

TOKYO
商工連 Plaza

2023

1

vol.369

商工会は 行きます 聞きます 提案します

新年のご挨拶



東京都商工会連合会

会長 山下真一

新年明けましておめでとうございます。
令和五年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

多摩・島嶼地域の中小・小規模企業は、収束の気配が見えないコロナ禍の影響とその後の原油・原材料価格の高騰や急激な円安に加え、従来からの事業承継、人手不足、生産性向上などの問題が継続しており不透明感が層増しています。

またデジタルトランスフォーメーション(DX)、持続可能な開発目標(SDGs)、脱炭素社会などの社会的な課題に対して中小・小規模企業の取組みが急務となっております。

このような社会経済情勢の中、多くの中小・小規模企業が事業を様々に変革して新たな環境に適応しようと取り組んでおります。

積極的にDXを活用して商品・サービスの提供方法の変更、新商品・サービスの開発、顧客や販売先を変更するなど環境変化に果敢に立ち向かっています。

こうした挑戦する取組こそが中小・小規模企業と地域産業の持続的発展へとつながります。

令和五年は、急激に変化する経営環境下での中小・小規模企業の支援ニーズに的確に対応した専門家等による直接のアドバイザーや、事業者に寄り添った商工会経営指導員による伴走型経営支援をさらに充実させて支援していきます。

また、中小・小規模企業の改善・発達を図るためのDXの推進による生産性向上や、新しい日常の定着化に向けたICT化の推進を強化して参ります。

大都市東京の近郊にある自然と融合した多摩や、島嶼の魅力を観光需要やビジネスチャンスに結び付けることは地域の活性化に重要です。広域的なネットワークの「多摩観光推進協議会」を活かして、多摩を訪れて体験するプロジェクトや多摩地域や島嶼地域の持つ魅力を海外や国内へ広く発信する活動を進めます。

この厳しい困難を乗り越えて多摩・島嶼地域の経済回復と新たな飛躍・持続的発展に向けて、二十七商工会の役員と二体となつて中小・小規模企業の経営力強化と経済基盤の整備に取り組み、多摩・島嶼地域の振興を推進して参ります。

CONTENTS

② 令和5年「年頭所感」 小池百合子 東京都知事

②～③ 27商工会長・役員「今年の決意・抱負」

④ 令和5年度の東京都予算に対する団体要望ヒアリング
「持続可能な未来に向けた中小企業への支援」と「小規模企業振興」などを要望⑤ 第62回 商工会全国大会
「中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実施」など6項目を決議
「政策の効果を地域の隅々まで行きわたらせるには、地域に密着した商工会の協力が不可欠」と岸田総理⑥ イベントガイド(2月～3月)
・商工会青年部全国大会 主張大会で峰岸成禎さん(国立市商工会)が最優秀賞
・産業交流展2022開催 都連は機械・金属ゾーンに独自ブース

⑦ <連載>「わが社の経営革新計画」山本製作所(武蔵村山市)

⑧ <連載>「商店街の繁盛店」和泉屋製綿(狛江市)

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

上げます

2023年元旦 東京都商工会連合会



東京都商工会連合会(稲城市商工会会長)
副会長 **奈良部 義彦**
「先人の事業を受け継ぎ、
発展させ未来を切り開く」



東京都商工会連合会(国分寺市商工会会長)
副会長 **込山 雄茂**
「会員の飛躍、向上を手伝う」



東京都商工会連合会(福生市商工会会長)
会長 **山下 真一**
「失敗を恐れず、
常に前を見て進み続ける」



大島町商工会(連合会理事)
会長 **岡山 正宏**
「緊陣一番、がんばりましょう！」



狛江市商工会(連合会理事)
会長 **佐藤 高志**
「ワンチーム、
息を合わせて参りましょう」



西東京商工会(連合会理事)
会長 **松川 紀代美**
「安心と信頼。頼られる
商工会を目指して、尽力します」



昭島市商工会(連合会理事)
会長 **平畑 文興**
「地域を支え、経済団体としての
組織力の強化」



瑞穂町商工会(連合会理事)
会長 **高水 英夫**
「新たな魅力価値を共創する
商工会を目指します」



羽村市商工会(連合会理事)
会長 **島田 哲二郎**
「新しい商工会を
地域の皆様とともに！」

令和五年

年頭所感



東京都知事

小池 百合子

明けましておめでとございます。久々に、街に賑わいが戻りつつあります。明るい兆しを、力強い成長のうねりへと繋げ、持続可能な東京の未来を確かなものにしていきたいと思ひます。

感染症、エネルギー問題、自然災害など、地球規模の出来事が足元の社会経済活動に直結する時代です。都政においても、世界を常に意識しなければ、たちまち国際社会の潮流から取り残されてしまうでしょう。

昨年のCOP27では、人類が直面する気候危機の現状と対策の最前線を目の当たりにし、改めて、国家や都市が共に力を合わせて取り組むべきと

の思いを強くしました。東京都は、電力を「H減らす」、「T創る」、「T蓄める」のH-T-Tを合言葉に、皆様と力を合わせ、脱炭素化とエネルギーの安定確保を同時に進めていきます。

また、取り巻く脅威から都民の命・暮らしを守り抜く強靱な都市の実現も重要です。折しも、今年は大震災の発災から100年の節目を迎えます。都の防災施策を前提条件から見直し進化させた「TOKYO強靱化プロジェクト」を推進力に取組を一層加速していきます。

そして、この安全・安心を基盤に、「人」が思いのままに活躍できる社会を築く。多様な人材が生み出すアイデアやテクノロジーこそ東京が誇る強みです。そこで、これを一つのブランドにして、世界中に売り込んでいきます。その名も「Sustainable High City Tech Tokyo」。

頭文字を取り、「Sushi Tech Tokyo」です。世界中で親しまれる日本の食文化「鮎」のように、国際社会での存在感を發揮していく。2023年は、その出発点となる年です。スタートアップを中心とした国際イベントを開催するなど、挑戦を続ける東京の姿を力強く発信してまいります。

東京が変われば、未来も変わる。希望と活力に溢れる都市への進化を共に推し進めてまいります。

新しい年が、皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和五年 元旦

多摩・島しょ地域の小規模企業の繁栄・躍進に向け一層の支援をいたします。

謹んで新年のお慶びを申し

「」は今年の決意・抱負

 <p>小金井市商工会(連合会理事) 会長 信山 勝由 「地域・会員と連携し、時代の荒波を乗り越える」</p>	 <p>小平商工会(連合会理事) 会長 鈴木 庸夫 「新時代の地域経済を担う商工会となる！」</p>	 <p>清瀬商工会(連合会理事) 会長 内野 光裕 「逆境こそ進歩のチャンス 新たな一歩を踏み出そう」</p>	 <p>日野市商工会(連合会理事) 会長 小林 昭治 「W・I・T・H・C・O・R・O・N・Aでの地域活性化を」</p>	 <p>三鷹商工会(連合会理事) 会長 岩崎 守利 「時代の転換期、商工会事業の再構築を推進しよう！」</p>	 <p>東京都商工会連合会 専務理事 傳田 純 「我々は地域経済を支えるために存在し続ける」</p>	 <p>東京都商工会連合会(三宅村商工会会長) 副会長 長谷川 一也 「有事に備えた 危機管理の徹底！」</p>
 <p>武蔵村山市商工会(連合会理事) 会長 田中 伸彦 「多摩都市モノレール延伸！ 産業が育つ新しい街へ」</p>	 <p>東大和市商工会(連合会理事) 会長 高橋 章 「一刻も早い地域経済回復に 不可欠！商工会の伴走支援」</p>	 <p>あきる野商工会(連合会理事) 会長 松村 博文 「傾聴・迅速・丁寧で 地域に頼られる商工会となる」</p>	 <p>国立市商工会(連合会理事) 会長 桂 耕史 「60年のレガシーを心に刻み、明日を創る商工会であれ」</p>	 <p>東村山市商工会(連合会理事) 会長 増田 敏喜 「さめ細やかなサポートで 地域個店の活躍を後押し！」</p>	 <p>東久留米市商工会(連合会理事) 会長 井田 清治 「コロナ禍の中、 行政とともに歩む商工会」</p>	 <p>調布市商工会 会長 渡部 完治 「異業種交流で新たな 地域連携経済活動の推進！」</p>
 <p>小笠原村商工会 会長 打込 由美子 「大事な人生 嘆かず 腐らず 前向きに」</p>	 <p>神津島村商工会 会長 敵本 俊和 「念ずれば花ひらく、 強烈な願望を胸に抱け」</p>	 <p>新島村商工会 会長 前田 安久 「真の豊かさとは活性化の一助となる商工会を目指して」</p>	 <p>日の出町商工会(連合会監事) 会長 原田 輝和 「今こそ商工会！」</p>	 <p>八丈町商工会(連合会監事) 会長 間仁田 聡 「コロナを恐れすぎず、 地域経済まわしていこう！」</p>	 <p>東京都商工会女性部連合会(連合会理事) 会長 佐藤 和美 「地域の活性化を目指し 女性部一丸となって前進しよう」</p>	 <p>東京都商工会青年部連合会(連合会理事) 会長 河合 敬則 「地域を盛り上げ、地域に 愛される青年部を作ろう!!」</p>

令和5年度

東京都の団体要望ヒアリング

「持続可能な未来に向けた中小・小規模企業への支援」と「小規模企業振興」を実現するため、

- ① 原油・原材料高騰などへの対策と新しい時代に向けた支援の強化
- ② 中小・小規模企業の事業の継続に対する支援の強化
- ③ 小規模企業への支援の更なる充実」の3つを重点要望

東京都商工会連合（山下真一会長）は12月14日、都庁で開かれた「令和5年度各種団体からの東京都予算に対するヒアリング（団体要望ヒアリング）」に出席し、小池百合子東京都知事に要望を伝えました。ヒアリングの冒頭で山下会長は、都連が毎年度実施している「多摩・島しょ地域の中小企業の経営動向調査」に触れ、「感染予防対策の定着などで、行動制限の緩和や外国人観光客の受け入れの再開など人流や経済活動が一定程度戻りつつあるが、2年以上におよぶコロナ禍で消費や経済活動の質が大きく変化し、新たな日常に対応することができないでいる事業者が多い」と指摘、都に対して一層の支援を求めました。

山下会長は、今年度の要望のうち、とくに強く要望する項目として、「持続可能な未来に向けた中小・小規模企業への支援」と「小規模企業振興」を掲げ（別表）、それを実現するための①原油・原材料高騰などへの対策と新しい時代に向けた支援の強化②中小・小規模企業の事業の継続に対する支援の強化③小規模企業への支援の更なる充実、の3項目を重点要望しました。

■原油・原材料などへの対策と新しい時代に向けた支援の強化

持続可能な未来に向けた中小・小規模企業への支援では、現下の急激な円安などによって原油・原材料の価格が高騰するなど、厳しい経営環境にさらされている事業者への支援について触

令和5年度
東京都予算に対する
要望

- 一. 持続可能な未来に向けた中小・小規模企業支援
- 二. 小規模企業振興
- 三. 観光振興
- 四. ものづくり振興
- 五. 多摩地域要望
- 六. 島しょ地域要望

（太字は重要項目）

れました。その中で、「コロナ禍の打撃が十分に回復しない中で、追い打ちをかけるような厳しい経済状況により、ポストコロナに向けて新たな取組みを進めようとしている企業は、資金繰りや人材確保に大きな影響を受けている」と述べました。

また、ここ数年で急激に拡大したDX（デジタルトランスフォーメーション）



▲団体要望ヒアリングで、小池都知事（中央）に要望書を渡す山下会長と、込山、奈良部、長谷川の3副会長（左から）

ン）に対応するため、DX導入による生産性の向上やEC（電子商取引）サイトの販売の導入などが重要になっていきますが、「経営資源の乏しい中小・小規模企業にとって、導入経費の負担に加えDX人材の確保や育成が困難な課題になっている」と指摘しました。さらに、「こうした厳しい状況に直面する中小・小規模企業のDX推進と人材確保への支援を強力に進めていただきたい」と要望しました。

■中小・小規模企業の事業の継続に対する支援の強化

中小・小規模企業の事業の継続に対する支援の強化について山下会長は、「コロナ禍による社会経済の状況の変化に対応するため、それまでの事業形態の転換を目指す事業者や、あるいは転換せざるを得ない事業者にとって、資金面だけでなく様々な情報提供や制度面での支援が不可欠だ」と述べ、事業者のニーズに合致したタイムリーな情報提供と支援の重要性を指摘しました。

また、これまでも中小・小規模企業

にとって、経営者の高齢化と後継者不足、人材不足や採用難などの課題があり、これを解決することはまさに喫緊の課題だったとし、優れた技術や経営ノウハウを持ちながら、後継者不足などによって廃業を余儀なくされる企業も数多くあったと指摘しました。

山下会長は「これらの経営資源の喪失は、地域の産業振興にとっても大きな損失につながってしまう」と危機感を募らせ、重要な経営資源を承継し発展させることができるよう、さらには新たな起業にもつながるような様々な支援策の強化を都に要望しました。

■小規模企業への支援の更なる充実

一方、3つめの重点要望である小規模企業支援では、「厳しい環境の今だからこそ、商工会等が小規模企業に寄り添う伴走型支援が必要」として、これを強化できるよう予算の確保を求めました。中でも、商工会の事業運営の根幹である経営指導員の確保が重要な課題になっていると訴えました。

連合会も採用に苦慮しており、待遇面に課題があると考えていることも伝えました。「将来有望な人材を確保するためにも、都の小規模事業経営支援事業の実施に当たっては、柔軟に運用できるように配慮していただきたい」と要望しました。

人事交流

【退職】（10月31日）▽昭島市 記帳員

木達興

（地域名は商工会名。記帳は記帳相談員）



▲6項目の大会決議を掲げた第62回商工会全国大会

森義久全国連会長の大会会長挨拶に続き、岸田総理が祝辞を述べました。総理は「今、日本は新型コロナ、ロシアによるウクライナ侵略、世界

中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実現など
6項目決議

「政策の効果を全国の津々浦々、地域の隅々まで行きわたらせるには、地域に密着する商工会の皆様のご協力が不可欠」と岸田総理

第62回 商工会全国大会 開催

全国商工会連合会（全国連）、都道府県商工会連合会、市町村商工会は11月10日、東京・渋谷のNHKホールで「第62回商工会全国大会」を開きました。全国から約2400人が参加、また、来賓には岸田文夫内閣総理大臣、西村康稔経済産業大臣、野村哲郎農林水産大臣をはじめ、自由民主党、公明党、立憲民主党の代表や、多数の国会議員を迎えました。大会では、政府や政党に対して商工会の意見を表明し、「中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実現」など6項目を決議しました。

物的価値高など諸課題に直面している。

とくに中小・小規模事業者の皆様が厳しい経営状況に置かれていることは、皆様の意見を直接伺い実感している。10月末にまとめた事業規模72兆円の総合経済対策では、事業者の皆様へのニーズを盛り込ませていただいた。電気・ガスの高騰への対策も大胆に行う。また、物価上昇の中でも事業の継承、未来への投資の原資を確保するため、価格転嫁対策を抜本的に強化し、融資の返済がピークを迎えることにも対応し、新たな借り換え保証制度を創設する”などと述べ、「こうした政策の効果を全国の

大会決議

I 中小企業・小規模事業者の支援に重点を置いた大型経済対策の早期実施

①小規模事業者等の販路開拓・生産性向上のための支援策の継続・拡充②コロナ禍克服のための力強い景気対浮揚策の実施③円安等によるエネルギー・原材料等の高騰に対する適切な価格転嫁及び価格抑制策の実施④インボイス制度や電子帳簿保存等への対応支援の拡充

II 地域を支える小規模事業者に対する支援策の大幅拡充

①小規模企業対策を含む中小企業対策費の大幅拡充②省庁横断的な中小企業・小規模事業者の政策の決定・予算措置の実施③新時代の構造変化に対応する事業再構築補助金の継続実施④ポストコロナ等を見据えた販路開拓支援

III 小規模事業者等に寄り添って支援する商工会の体制強化

①伴走型小規模事業者支援推進事業費の拡充②制度改正等の課題解決環境整備事業の拡充③伴走型で小規模事業者を支援する人員の増員④商工会ビッグデータを活用した支援基盤整備⑤商工会館の機能強化

IV 企業力向上のための税制・金融、労務支援等の制度の改正・拡充

①コロナ関連融資の拡充・延長②小規模事業者経営改善資金（マル経）の拡充③消費税の見直し等④中小企業・小規模事業者の活力向上のための税制改正⑤最低賃金の適正な運用等⑥働き方改革・生産性向上への対応のための支援強化⑦社会保障費負担の軽減

V リスクマネジメント支援の強化及び災害からの復興

①経営者等のリスクマネジメント力向上及び共済・保険制度の推進②小規模事業者に対するサイバーリスク対応支援の拡充③被災事業者や被災地域の早期復興支援の強化

VI 地域を支え、共に歩む唯一の経済団体としての商工会の組織力強化

①会員増強と組織力向上に向けた取組みの推進②地域経済の担い手である青年部・女性部の活動推進③全国商工会社青年部連合会の全国組織化の推進④商工会組織としてのDXの推進⑤月刊商工会を活用した各種施策普及の推進



▲「政策の効果を地域の隅々まで」と岸田総理

津々浦々、地域の隅々まで行きわたらせるには、地域に密着する商工会の皆様のご協力が不可欠」と商工会にも協力を求めました。また、「事業者の皆様は成長やチャ

レンジを支える”人への投資”にも力を入れる。人への投資が高い生産性と賃上げにつながり、賃上げが地域の力強い消費活動を支え、事業者の皆様は成長機会を生む。こうした好循環を実現したい」と中小・小規模企業向けの経済対策に全力を尽くすことを約束しました。

続いて西村経産相、野村農水相が祝辞を述べ、また各政党を代表して、自由民主党の茂木敏充幹事長、公明党の山口那津男代表や、多数の国会議員、関連団体などが祝辞を述べました。

2月3月 多摩・島しょ地域のイベント

EVENT GUIDE

中止あるいは延期されることもあります。
念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、
お出かけください。

日程	イベント名	会場	主催者・問い合わせ先
2月 1月29日(日)～ 3月26日(日)	大島町 第68回 伊豆大島椿まつり 大島特産の椿油・お土産品販売、屋台が出店	都立大島公園	大島観光協会(04992-2-2177)
1日(水)～ 14日(火)	調布市 飲食店等応援事業 地域の魅力を再発見!パイ調布チケット 京王線の4駅周辺の飲食店、卸・小売店で使えるチケット事業。5000円のチケットを3000円で販売	つつじヶ丘、柴崎、 国領、布田の4駅	調布市商工会(042-485-2214)
4日(土)～ 5日(日)	八丈町 第31回 八丈島産業祭 漁業・農業・商工業者による特産品などの展示・即売会	八丈町役場	八丈島産業祭実行委員会(役場内: 04996-2-1125)
9日(木)	調布市 第9回 ビジネスマッチング商談会 個別面談会/受発注参加事業者間の面談/なんでも技術相談会/名刺交換会	調布クレストンホ テル	調布市商工会ものづくり企業支援室 (042-485-2214)
18日(土)	武蔵村山市 街バル・むらり～2023 バスを5台チャーターして、地元の名店をはしご酒する。イベント参加者は バッジを使って、特別なバルメニューを楽しむ。	市内参加店舗	武蔵村山市商工会青年部 経営研究委員会 「街バル・むらり～2023実行委員会」 (042-560-1327)
3月 25日(土)～ 26日(日)	小金井市 小金井桜まつり 地元のグルメ出店、ミニライブステージ、お囃子、茶席など	小金井公園	小金井市観光まちおこし協会 (042-316-3980)

第22回 商工会青年部全国大会(熊本大会)で

ま さ よ し 峯岸成禎さんが最優秀賞 獲得!

11月15日、16日の両日、商工会青年部全国大会が熊本市で開かれ、主張発表大会に関東ブロック代表として出場した国立市商工会青年部の峯岸成禎さんが、最優秀賞に選ばれました。都連代表が全国大会で最優秀賞を獲得したのは2005年以来17年ぶりです。

主張発表大会には全国6ブロックから7人が参加し、内容、構成、表現力などを競いました。峯岸さんは、関東ブロック大会優勝後、発表の内容、話し方などを一から見直すとともに、青年部の先輩から厳しい特訓を受けての出場。早朝に多摩川べりで大きな声を出す練習もしたそうです。

発表内容の「詐欺撲滅と事業の活性化の実現」は、自社にも関係があるリフォーム事業で詐

欺事件が増えていることに着目したもの。とくに高齢者の住宅修繕時の詐欺被害の実例を挙げ、高額な見積もりが横行するなど現状を語りました。これを防止するため市役所や市民センターにパンフレットを置いて「商工会の建設関係者に一声かけてくれれば、安心できる地元の業者が対応できる」と訴え、実際に被害者が減少したことも明らかにしました。

他の発表者が事業やイベントなどへの取組みを発表したのに対し、犯罪を未然に防いで実際に成果を上げていることなどが審査委員に新鮮に映ったようでした。「全国で取り組みたいこと」などの意見も相次ぎ、高評価を受けました。

会場に東京から駆け付けた河合敬則会長ら70人の応援団も峯岸さんの快挙に大興奮でした。



▲トロフィーを手に笑顔の峯岸さん



▲ツーショットで、河合会長(左)が持つのは部員増加率実績全国1位の表彰状

産業交流展2022開催

(リアル展)

リアルとオンラインのハイブリッド開催

中小企業による国内最大級のトレードショー

東京都、東京商工会議所、東京都商工会連合会(都連)などが主催する中小企業による国内最大のトレードショー「産業交流展2022(リアル展)」が10月19日から3日間、東京ビッグサイトで開かれました。また、オンライン展は同12日から11月4日まで公式WEBサイトで展開され、ハイブリッド開催となりました。リアル展示会でもオンライン展示会でも出展者と交流を図れるようにしました。優れた技術・製品を広く紹介し、販路拡大や企業間連携に積極的に取り組む中小企業を支援することが目的の展示会で、情報、環境、医療・福祉、機械・金属などをテーマに全体で618社・団体が出展しました。特設ゾーンとして「DX(デジタルトランスフォーメーション)ゾーン」、「脱炭素ゾーン」なども設けました。

都連は、機械・金属ゾーンに独自ブースを設けました。多摩地域のものづくり企業10社が出展し、技術力、製品力をアピールしました。また瑞穂商工会は「瑞穂ファントム工場」で、三鷹商工会、小金井市商工会は「武蔵野エリア販路開拓事業」として出展しました。



▲産業交流展に出展した都連の独自ブース



新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

経営革新計画 PART2 No.28

顧客ニーズに応える 3次元加工の実現と 加工体制の確立へ



有限会社
山本製作所

代表取締役

山本 隆士 氏

(武蔵村山市商工会会員)

▲複雑な曲線形状の曲げ加工を
目指したいと山本社長

1960年に父が三鷹市で創業し、68年に現在の武蔵村山市伊奈平に移転しました。70年に法人化、現在は、OA機器や自動車部品のプレス加工品、板金加工品を生産し、それが売上の70%以上を占めています。金型の設計製作も行います。製品の構成は自動車部品35%、OA機器部品20%、セルフレジ機器部品15%、医療機器部品10%といったところです。

地域で受・発注の信頼関係が できている

私は2代目で、2000年に父から事業を承継しました。社是は「品質向上への強い意識と誠実な経営活動を通じ顧客と地域から信頼される企業となること」。先代の経営手法を守りコツコツと堅実にやってきました。その手法の中に「大手との直接のやり取りはしない」というのがあります。大手企業との直接取引になると、製品規格の管理をする人材が要りますし、定期的にレポートも提出しなければなりません。専任の営業マンも必要になります。それがコスト増につながります。

幸い、この地域(伊奈平)は受・発注の信頼関係ができています。つまり「あの会社は社員が少ないけれど、技術力が高い。急な発注にも応えてくれる」というように。2次元加工、3次元加工といった割り振りもなんとなく出ています。機械加工の幅は広く、得手・不得手もありますが、仕事仲間に少し相談すれば「それなら、あの会社が良い」という正解が出る環境にあります。

「汎用の腕」を持つ 社員がいる強み

技術力も大きな要素です。ただ、私が「技術力」として社員に求めているのは「汎用の腕」です。要求される加工のレベルを自分の経験に照らし合わせて、出来る出来ないを決める。この機械とこの切削工具、この測定器があれば可能だと言い切る力(ちから)、図面を読み解く力でしょうか。それが汎用の腕だと思います。

大手金属加工品メーカーは、時代の要求に合うように新鋭の機械を導入します。しかし、中小企業にとって、ある用途に特化した専用で高性能・高価な機械の導入にはなかなか踏み切れません。導入する機械には様々な加工に適應する汎用性が求められます。また、機械を使う技術者にとっても、古い機械であってもその機能をフルに引き出すことが必要です。だから「汎用の腕」が重要になるわけです。

顧客ニーズが大きく変化

とはいえ、加工技術の高度化は止まりません。中小企業の受注環境もモデルチェンジ期間が短くなるにつれ、量産品が減少し多品種少量の傾向が強まっています。当然のように、金属プレス加工や板金加工といった分野にも新たな技術革新の波が押し寄せてきています。板金加工

では通常の穴あけや直角曲げ加工くらい加工では金型を使用しなくなってきました。一方、プレス加工は専用金型を使う量産品向きですが、年々減少傾向にあります。

当社は、これまで量産品用の金型の製作、プレス加工品を主に生産してきましたが、主力顧客は、ここ10数年でプレス加工より板金加工にシフトし板金加工の割合が増えていきます。通常の金型製作の仕事量は減少傾向にあります。

こうした状況下ですが、顧客ユーザーからは「金型を使った複雑な曲線形状の曲げ加工など、精度の高い3次元加工ができないか」という声が聞かれるようになってきました。とくに最近の3次元CAD/CAMの普及により、複雑な形状曲げ加工を多用した部品設計が積極的に進められています。しかし、当社の営業地域内で、試作、金型製作、プレス加工、板金加工といった業種で、単独で量産まで行えるところは見当たりません。

私が、今、取り組まなくてはならないのは「金型を必要とする3次元加工」で差別化を図ること。また、小さな部品の複雑形状の加工要望が多いことから「プレス用金型に形状を反映させ、短期間にも対応、高い加工精度であること」だと判断しました。

3次元加工対策で 最新鋭マシンを導入

本格的に3次元加工に取り組むにあたり、立型マシンニングセンター(オークマ製)を、2020年2月に導入しました。工具を替えながら24時間稼働できます。精度も最高5ミクロン、回転数は通常6000回転のものを12000回転まで上げられるようにしました。価格は約2640万円。そのうち2019年度受注



▲導入した12,000回転が出せる
マシンニングセンター(MC)

住所: 〒208-0023
東京都武蔵村山市伊奈平1-39-5
TEL: 042-560-1903

型中小企業競争力支援事業(東京都)で3分の2をまかない、残額は金融機関から借入しました。また、2022年には、画像計測測定器(キーエンス製)を導入し、加工した製品の品質保証を実現できるようにしました。

新設備導入は2015年から始まっており、精密ワイヤカット放電加工機を導入(ソディック製)しました。2017年には2台目を導入し、その後高速細穴放電加工機(ソディック製、平面研削盤(岡本工作所製)なども導入済みで、今期、画像計測測定器導入により、今までの加工精度向上・品質保証が図れ、本格化する金型製作(試作型↓本金型)に向けて体制を整ったと言えるでしょう。

「顧客ニーズに応える3次元加工の実現と加工体制の確立」という目標を掲げて挑戦した東京都の「経営革新計画」は、おかげ様で2020年9月に承認されました。プレス加工業者である当社が、比較的不得手にしている3次元加工による複雑形状加工を実現し、さらに成長するための大きなステップになります。

今後は3次元CAD/CAMのノウハウの蓄積とMCの加工技術の習得、試作金型の制作、高度な切削加工の研究などに積極的に挑戦していく所存です。



- 一人ひとりに合わせ、自然素材にこだわったオリジナルのふとん作り
- 店頭コーディネーター、製綿職人、仕立て職人の3工程を全て自社内で
- 100年企業に「新しい風」次女の千恵さんが入社

狛江市

株式会社和泉屋製綿所

代表取締役社長 白井 千雄 氏



白井社長(左)と次女の千恵さん▶

和泉屋の歴史はおおよそ120年と長い。“おおよそ”というのは白井社長の3代前の喜代蔵さんが大正12年に配った紙切れが残っていて「4代前の千代吉さんが布団の打ち直しを生業としていた」と記されていたことから…。千代吉さんが亡くなる明治37年(1904年)より前にいづみやが創業されたと考えられるわけで、少なくとも120年は経っていることになった。

気を付けないと通り過ぎてしまいそうな「昔ながらの布団屋さん」。しかし、れっきとした100年企業だ。そこには綿屋さん、布団屋さんとして刻んできた長い歴史がある。

「40年前には狛江に18軒の布団屋があった。今はウチだけ」と少し寂し気に、その一方で少し誇らしげに白井社長は語る。今でも残っている理由は、と訊くと「お客さま一人ひとりに合わせ、自然素材にこだわったオリジナルの布団を作ってきたから」とキッパリ。しかし、このフルオーダー型の自然素材を使った布団を作るノウハウは一朝一夕でできたものではない。化学繊維などを活用したライト感覚の布団の全盛時代に、あえて一人ひとりに合う自然素材の布団を提供するのは、ある種の冒険であり、挑戦でもある。生産性は度外視だし、素材によって異なるが、中綿に日本産の綿を使った最高級の品は敷布団だけで約18万円と値段も張る。

最近になって、布団など寝具でも自然素材で作られたものが注目されるようになってきたという。「自然素材の中で暮らしたい。触るものも着るものも。まして睡眠をとるためのものは自然素材が好ましいと思う人が増え、若者たちもそれに共感するようになってきた」と白井社長。「ウチを目がけてお客様が来てくれる」と顔がほころぶ。和泉屋製綿の商圏は、狛江市周辺だけでなく23区内や神奈川県まで広がっている。「自然素材の製品が売れ筋になる中で、布団など寝具の世界でも自然志向のナチュラル感が好きな人と、値段が手頃でデザインがいい製品が好きだというような人との棲み分けが出てきているようだ」と分析している。

和泉屋製綿所の布団作りの流れは、原料確保から始まって⇒綿の種類・大きさ・硬さ・中綿の量、生地素材の選定⇒調合・製綿⇒お客様の要望に合った硬さや厚みや寝心地を整える、と続く。どこの工程でも息が抜けない。白井社長は「わが社では綿選びから、職人による繊細な製綿と調合、お客様に合わせた仕立て作業まで、全ての工程を自社で行っている。自分に合う布団を探すより、生産者が合わせてくれるお仕立て布団といえる」とその優位性を語る。

こだわりは、「店頭コーディネーター」「製綿職人」「仕立て職人」の三つの工程に表れている。まず、お客様の相談役となる店頭スタッフが、長年の経験を生かして一人ひとりに最適な布団を仕立てるためコーディネーターして「加工指図書」を作成する。加工指図書は和泉屋製綿の想いが詰まった布団作りの指図書といえるもの。細かなテクニックがギッシリと書き込まれる。続いて、素材の選定を行い、次に熟練の職人が二人で調合と製綿を行って、硬さや厚み、寝心地を整える。手間ひまはかかる。「こだわりを維持するのは実は大変な作業」と白井社長。しかし、熟練職人はこだわりを普通にこなす。また、特殊な分野なので頻繁な転職もなく、長い目で見ると利益率は高いのだという。

「結局、オリジナルの強さだろうと思う。自分一人だけの、機械ではなく手で作られた布団を持つことで、気持ちの贅沢さが得られるのではないかと白井社長は語る。

「自然素材で仕立てられた布団は、人や地球環境に強い刺激を与えず、ゆっくりと体を本来の状態に導く手伝いをしてくれるもの」と白井社長は定義している。また、「毎日付き合う布団だからこそ、大切に手入れをしていただきたい」と条件も付ける。「布団干しが楽しめるようになると最高です」とも。

3年前、白井社長にうれしいことが起きた。

それは、次女の千恵さんが店に入り、行く行くは会社を承継することになったからだ。千恵さんは大学を出てから大手スーパーのネット販売部門に勤めていたが「父が継いでくれたこの会社を無くしたくない」と継ぐことを決心した。「難しいことばかりだが、やりがいのある仕事。しっかり取り組んでいきたい」と前向きだ。



店内の様子▶

〒201-0012 東京都狛江市中和泉2-12-3
TEL:03-3489-1711
URL: <https://wata-izumiya.com>